

令和元年第1回教育委員会臨時会会議録

■会議名 令和元年第1回教育委員会臨時会

■日時 令和元年7月24日(水) 午前9時30分から午前11時20分

■場所 忠岡町役場 3階 研修室1・2

■出席者 教育委員会委員

教育長	富本	正昭
教育長職務代理者	中村	吉治
委員	安明	明子
委員	井手	和代
委員	新田	哲也

事務局

教育部長	立花	武彦
教育部理事兼学校教育課長	石本	秀樹
教育部生涯学習課長	秋月	貴彦
教育部教育みらい課長	二重	幸生
教育部学校教育課参事	三好	泰隆
教育部学校教育課参事	大西	裕貴
教育部教育みらい課参事	寺田	綾
教育部教育みらい課参事	道口	康子

■傍聴者数 18名

■会議録署名委員 井手委員

■議事日程

日程第1・議案第27号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」

日程第2・議案第28号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択について」

その他

■会議の内容

富本教育長	ただ今から令和元年第1回忠岡町教育委員会臨時会を開催致します。 (開会 午前9時30分)
富本教育長	本日の応召委員は4名で、出席委員は同数であります。 従いまして委員会は成立しております。 次に議事に入ります前に、本日傍聴の申し出があります。 傍聴を許可することとしてよろしいでしょうか。 (「異議なし」の声)
富本教育長	ご異議ございませんので、傍聴される方の入室を許可することといたします。 (傍聴者18名入室)
富本教育長	本日の会議録署名委員を会議規則第16条の規定により、教育長の指名として、ご異議ございませんか。 (「異議なし」の声)
富本教育長	ご異議がないので、井手委員にお願いいたします。 なお、本日、委員の皆様方におかれましては、傍聴人数につきまして早朝よりご審議いただきまして、5名増にご同意いただきました。有難く、感謝の意を表したいと思います。 それでは議事に入ります。 議事日程を事務局より朗読願います。
二重課長	(議事日程朗読)
富本教育長	日程第1・議案第27号「令和2年度使用小学校教科用図書採択について」を議題と致します。事務局より議案の朗読を願います。
二重課長	(議案朗読)

富本教育長	会議規則第9条の規定により趣旨説明を求めます。
石本理事	<p>只今より趣旨説明を行います。本日、ご審議いただく内容は、令和2年度に小学校で使用いたします教科用図書の採択について、でございます。</p> <p>本来であれば、昨年度が小学校の教科書の採択替えの年でしたが、検定教科書が出されなかったために、平成27年度より使用している教科書を引き続き使用しております。この度は、来年度から新学習指導要領が実施されることに伴い、法令に基づき、小学校使用教科用図書の採択を行います。なお、今回採択した教科書については、原則として4年間同じものを使用することとなっております。</p> <p>採択事務に係り、11教科13種目において、検定を通過した教科書について、忠岡町教育委員会から忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に諮問をし、それを受けて、同選定委員会から2市1町教科用図書選定資料作成委員会に諮問を行い、調査員が調査・研究を実施し、報告をまとめていただきました。</p> <p>去る7月2日に2市1町教科用図書選定資料作成委員会から忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に調査結果の具申があり、それをふまえ、忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催しました。</p> <p>選定委員会では、『忠岡町の子どもたちにとって、どのような教科書が望ましい教科書であるか』を念頭に、答申を作成し、内容については、事前に委員の皆様にお示ししております。</p> <p>また、令和元年5月31日から7月3日までの期間、泉北郡教科書センター及び町立図書館において開設いたしました令和2年度使用教科書展示会で御記入いただいた御意見や御感想につきましても、前回の教育委員会定例会後にご覧頂いているところでございます。</p> <p>本日は、委員お一人お一人が、選定委員会の答申内容も参考に、採択いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、令和2年度使用小学校教科用図書の採択につきまして、ご審議の程、どうぞよろしく願い申し上げます。</p>
富本教育長	それでは、国語について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。

石本理事	<p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の内容が、偏りなく扱われているか、人権の取扱いは適切であるか、発達段階に応じた学習内容となっているか、児童が系統性を意識しながら、主体的に活動できるよう工夫されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>4社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍は、各学年の巻頭部分で「〇年で学習する言葉の力」と題し、各領域で学習すべき内容が明確に示されております。</p> <p>また、「防災ポスターを作ろう」「インターネットの投稿を読み比べよう」などで、多角的に読み広げられる教材を配置しております。</p> <p>学校図書は、「言葉の泉」「言葉のきまり」などで、児童の発達段階に応じて段階的に楽しく学習できるよう工夫されております。</p> <p>また、学習で重要なポイントを「国語のカギ」と分かりやすく表示しております。</p> <p>教育出版は、見開きのページで、単元の大きな目標を示し、次にどんな内容であるのか、写真や絵を効果的に使いながら、簡単にわかりやすい文章で説明を加えております。</p> <p>また、単元ごとに「話す・聞く」などの領域を表すマークをつけていて、児童がどのようなことをするのが明示されております。</p> <p>光村図書は、「話す・聞く」、「書く」、「読む」がバランスよく配置されており、マークで示されており、学習のねらいも端的ではっきりとしております。</p> <p>また、著名な作品を伝記として取り上げるなど、児童にとって身近な存在をテーマにして、興味や関心を引くようにつくられております。</p>
富本教育長	<p>それでは、ご意見、ご質問を承ります。</p>
井手委員	<p>人権の取扱いについて、どのような配慮がなされていますか。</p>
石本理事	<p>人権の取扱いにつきましては、各社ともさまざまな教材を用いなが</p>

富本教育長	<p>ら、共生社会の大切さや、平和を希求する態度、生命尊重などについて考えられるような内容となっております。</p> <p>また、すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されております。</p> <p>他にご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
中村教育長職務代理者	<p>選定委員会の答申としては、どのような意見が出ていますか。</p>
石本理事	<p>選定委員会としましては、新しい学習指導要領で重点が置かれている、主体的で対話的な深い学びを実現できるものとなっているものや、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域をバランスよく扱っているものがよいといった意見がありました。それらを総合して、採択の候補としては、東京書籍、学校図書、光村図書を挙げさせていただきたいと思います。</p>
安明委員	<p>主体的で対話的な深い学びといったご説明がありましたが、このことについて、今挙げていただいた3社の特徴と関連させながら、もう少し詳しく教えていただけますか。</p>
石本理事	<p>学習者である児童自身が、興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組むことを「主体的な学び」、友達や先生、地域の人との対話や先哲の考え方を手掛かりに、自己の考えを広げ深めることを「対話的な学び」、知識を相互に関連付けて、より深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、思いや考えを元に考えを創造したりすることを「深い学び」といい、今後の学習の方向性として文科省より示されております。</p> <p>東京書籍では、「つかむ」や「ふり返る」、「生かそう」という言葉を明示することで、学校図書では、「つかむ」や「見方や考え方を学ぶ」、「まとめる・ふり返る」、「広げる」という言葉を明示することで、光村図書では、「初めに」、「読む」「書く」「話す・聞く」や「ふりかえる」、「学習や生活にいかす」等の言葉で明示することで、見通しを持って学習に取り組めるような工夫がなされておりました。また、各社とも生活科や社会科、総合的な学習の時間などの</p>

安明委員	<p>他教科との関連の中で、学びを深めていくような工夫がなされておりました。</p> <p>各社とも、教科書の中で、「つかむ」や「初めに」などの言葉を用いて、考えを深める手順がわかりやすくなっているように思います。また、他教科とのつながりの中で、考えを深めていくような内容になっていることも理解できました。</p> <p>ところで、昨年度に、「第1次 忠岡町読書活動推進計画」が策定され、子どもたちがより親しみをもって読書に取り組めるように考えているところかと思いますが、そのあたりの取り扱いについては、いかがでしょうか。</p>
石本理事	<p>図書館の活用や教科書の中で紹介している図書の冊数について、各社ともに充実しております。3社において、教科書でどのように扱っているかについて、ご説明させていただきます。</p> <p>東京書籍では、「読むこと」教材のてびき「こんな本もいっしょに」で同一著者の作品を紹介したり、「本は友達」や、各学年に応じた本と、読書記録等の書き方が紹介されたりしております。</p> <p>学校図書では、「本のポップをつくろう」という活動を設けることで、読書習慣がつくような工夫がなされております。</p> <p>光村図書では、ブックトークの活用例が示されており、単なる読書にとどまることなく、本に関する興味・関心を持てるような工夫がなされております。</p>
新田委員	<p>子どもたちが読書に関心を持つという意味では、学校図書の「本のポップをつくろう」とか、光村図書のブックトークが非常に楽しそうで、よいきっかけづくりになりそうですね。</p> <p>この2社の中で、教科書の読み物教材から、読書に興味を持つきっかけになるような部分としては、いかがでしょうか。</p>
石本理事	<p>学校図書、光村図書ともに、「読むこと」に係る教材数については、大きなちがいはありませんが、選定委員会の中では、光村図書に低学年での物語文の取り扱いが多く、親しみの持てる作品が多いといった意見が出されておりました。</p>
富本教育長	<p>他にご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>

井手委員	低学年に物語文が多いということで、より低い年齢から読書に興味をもつことができ、読書習慣が身につくと思います。
中村教育長職務代理者	私も低い年齢から読書習慣がつくとよいと思います。そう考えると、光村図書がよいように思います。
富本教育長	光村図書を推す意見が多いようですが、他に意見のある委員はいませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、それでは、質疑を終結します。お諮りいたします。国語について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。国語につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。 続きまして、書写について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	毛筆による書写の指導内容は、硬筆によるものを基礎とした内容としてあつかわれているか、人権を尊重する内容が、偏りなく扱われているか、児童の発達段階に応じた内容が、偏りなく扱われているか、他の教科や領域と関連付けて学習できるよう扱われているか等を、主な観点としております。
富本教育長	5社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	各社の主な特徴を、ご説明いたします。 東京書籍は、「書写の学び方」で、全学年で統一した学習の手順が明確にされています。また、「文字のいずみ」では、書き初めやいろは歌など伝統的な書などを取り上げる一方、手書き文字のいろいろな書き方についても配慮されております。 学校図書は、「学習の進め方」で、目標や内容に対してどう取り組

	<p>めばよいのかについて、実際の書の対比や誤用例などを多く用いております。また、人気アーティストの楽曲を使用するなど、音楽との関連だけでなく、児童の興味を引きやすいような内容となっております。</p> <p>教育出版は、前年度までに学習した内容、今年度に学習する内容が巻頭2ページにまとめられております。また、「考えよう」「ここが大切」「生かそう」などのマークを使って、学習内容を把握できるように配列されております。</p> <p>光村図書は、巻頭部分に「学習の進め方」として、意識させておきたいことが明示されております。また、裏表紙には、あいうえお表やえんぴつの持ち方など、各学年の目標が一目でわかるように写真が掲載されております。</p> <p>日本文教出版は、点画の種類が丁寧に説明されており、次の学年でも復習できるようになっております。また、3年生以上では、「書写の進め方」と題し、学習の流れが3段階で進むことを明示しております。</p>
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
新田委員	書写の授業は、硬筆にしても毛筆にしても、書く姿勢や用具の使い方が大切になるかと思いますが、各社の取り扱いについて教えてください。
石本理事	各社とも、1・2年生では、姿勢や筆記具の持ち方について、3・4年生では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、5・6年生では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取り上げられております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
中村教育長職務代理者	3年生から始まる毛筆は、書写の時間特有のものになり、字のバランスを取るのが難しいように思いますが、この辺りで工夫の見られる教科書はありますか。
石本理事	ご質問の部分に、顕著に工夫が見られる教科書は、学校図書、光村図書、日本文教出版の3社でございます。

	<p>学校図書では、半紙のどのあたりから書けばよいのかがわかるように、小さく▽で印が入っており、バランスの取りにくい字にも対応しております。</p> <p>光村図書では、筆を運ぶ流れを確認するためのシールを貼ることができるようになっております。</p> <p>日本文教出版では、「字形の整え方」として、間違いの字を先に提示し、どこが良くないのかを考えさせてから、実際に書かせるような構成となっております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
井手委員	教科書を読んでいますと、学校図書が、習字道具に関するコラムが掲載されていて、毛筆に興味を持つことができるのではないかと感じました。
安明委員	今、井手委員がおっしゃった点は、とてもよいと思います。そう考えると、学校図書がよいのではないのでしょうか。
富本教育長	ただ今、学校図書を推す声がありましたが、他にご意見はございませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。書写について、学校図書を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし。」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。書写につきましては、学校図書を採択することに決定いたします。
	続きまして、社会について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	社会科の目標を達成するための内容であるか、学年の発達段階、児童の興味・関心などを考慮した内容となっているか、意欲的に学習し、社会的事象に対する見方・考え方が深まるように創意工夫されているか等を、主な観点としております。

富本教育長	3社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	<p>各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、写真や挿絵などの資料について、児童の発達段階を考慮して取り扱われており、記述の順番に写真に番号を振るなど、児童の理解を助けております。また、「ひろげる」では、学んだことに関わるコラムや資料が多く掲載され、発展的な学習に取り組みやすいようになっております。</p> <p>教育出版では、疑問に思ったことや知りたいことから学習問題を作り、児童が多角的に考えたり、公正に判断する視点で進めたりすることができるように取り扱われております。また、「社会科ガイド」で調べ方についての説明を設けるなど、児童が主体的に調べ学習を行うことができるよう配慮されております。</p> <p>日本文教出版では、グローバル化する世界に目を向けられるように、世界の国や地域がどのように交流しているかを学び、世界が抱える課題の解決について考えるなど、共生について考えられるように取り扱われております。また、「わたしたちの学びを生かそう」で、補充的な学習に配慮されており、児童が自ら学び続け、社会に関わっていくことができるように多様な教材が掲載されております。</p>
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
安明委員	社会科では、6年生で歴史の学習が始まりますが、時代の流れがわかりやすくなるような工夫はありますか。
石本理事	<p>各社とも、時代が変わるページをわかりやすく明示しております。</p> <p>東京書籍では、「時代のものさし」、教育出版及び日本文教出版では、「歴史のものさし」という名前で、歴史の流れが見やすくなっております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
井手委員	どの教科書においても、調べるという活動が出てきていたかと思い

石本理事	<p>ますが、社会での学習の進め方について、各社どのように扱っていますか。</p> <p>井手委員のおっしゃるように、各社とも、調べる活動を含む学習の流れを明示しております。具体的に申し上げますと、東京書籍では、気づいたことや疑問に思ったことから学習問題をつくり、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を経て、いろいろな方法で調べまとめることを通して学習を進められるように、内容が取り上げられております。</p> <p>教育出版では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の進め方を基本とした単元構成がなされており、単元末には、学習問題を振り返るページが設けられており、語句や社会的事象を確認できるようになっております。</p> <p>日本文教出版では、巻頭で「ぎもんを見つける」「調べる」「話し合う」「まとめる」「調べる」のモデル図を示しており、児童の疑問から課題を見つけ、解決するために調べまとめることを通して、学習を進められるように、内容が取り上げられております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
中村教育長職務代理者	<p>社会では、さまざまな資料から考えを深めていくことが大切だと思いますが、各社の取り扱いはどうなっているのでしょうか。</p>
石本理事	<p>各社とも、資料として、写真資料、絵、グラフ、表、地図がございます。取り扱いの量としては、日本文教出版が最も多く、次いで、東京書籍、教育出版の順となっております。また、日本文教出版では、3年生、4年生、5年生での資料の取り扱いが、特に多くなっております。</p>
中村教育長職務代理者	<p>日本文教出版では、3年生のうちから、さまざまな資料にふれることで、多角的な考え方ができる子どもになりそうな気がします。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
新田委員	<p>ここにこれまでにあがっていること以外で、特徴的な部分はありませんか。</p>

石本理事	<p>教育出版では、「次につなげよう」で、既習単元と次の単元を結び付け、児童の興味関心を引き出す工夫がされております。</p> <p>日本文教出版では、情報リテラシーについて、詳しく取り上げているところがあり、児童が深く考えるきっかけになるよう工夫されております。</p>
新田委員	<p>スマホとか、インターネットとかに子どもたちが触れることがたやすくなっていることを考えると、情報リテラシーについて、深く考えられるということは、重要ですね。そういうふうに考えると、日本文教出版がよいのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>日本文教出版を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。社会について、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。社会につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、地図について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>社会科の目標を達成するための内容になっているか、学年の発達の段階、児童の興味・関心などを考慮し、各学年の内容に対応しているかどうか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>検定を通過したものは2社でございますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>2社とも、日本全図、日本地域図、世界全図、世界大陸別図が取り扱われており、社会科の学習内容に関連した資料についても数多く掲載されております。また、フォントや文字の大きさ、レイアウト</p>

	や配色等、すべての児童にとってわかりやすく、使いやすくする配慮がなされております。
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
井手委員	両方とも、ちがいがあまりないように思うのですが、選定委員会では、何か特徴的なところについて、意見は出ていますか。
石本理事	現在は、4年生から地図帳を使用しておりますが、来年度からは、3年生から地図帳を使用して学習を進めることになっております。そのことを踏まえ、両社について、意見が出ております。東京書籍では、巻頭の世界と日本のイラストマップ、キャラクター探しや地図クイズ等、児童の意欲を喚起するよう工夫されている部分では、3年生から使いやすいものとなっております。帝国書院では、「地図マスターへの道」の欄が多数設けられ、クイズに地図帳を活用して答えることができるよう工夫されております。また、地図の成り立ちや地図の約束、地図帳の使い方などがわかりやすく丁寧に書かれており、3年生から使いやすいものとなっております。
井手委員	帝国書院の「地図マスターへの道」は、楽しそうですね。
新田委員	地図帳の使い方についても、たしかにわかりやすく書かれていますね。3年生にとってもわかりやすいのではないですかね。
富本教育長	帝国書院を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんでしょうか。
富本教育長	意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。地図について、帝国書院を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし。」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。地図につきましては、帝国書院を採択することに決定いたします。

石本理事	<p>続きまして、算数について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p> <p>算数科の目標を達成するために、適切な内容がとりあげられているか、写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容になっているか、各学年の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導を行うことができるよう組織・配列されているか、数学的な見方・考え方をはたらかせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>6社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、自分の考えを図や式を使って書く、問題解決的な学習や、図を見て考えを式にする、式を見て図を使って説明するなど、思考力・判断力が身につく問題が多く設定されております。また、問題の箇所がうす緑色で統一されており、どの子にも見やすくなっております。</p> <p>大日本図書では、考える、説明する、問題解決型の活動が多く、教科書をヒントに自分で考えることができるようになっております。また、単元のはじめに扱う題材が、写真、イラスト、マンガ等で、それぞれに工夫がなされております。</p> <p>学校図書では、「しりたいな」「かんがえたいな」「おはなししたいな」などの言葉で、毎時間の学習の流れが示されております。また、「もんだい」で生活の中から問題を見つけ、「知りたいな」や「くらべたいな」などの中で、問題解決的な学習に取り組めるよう構成されております。</p> <p>教育出版では、数学的な見方・考え方について、「さんすうのミカタ」で示されております。また、各単元の「どんな学習がはじまるのかな？」で身近な題材から問題を見つけ、問題解決的な学習に取り組んでいく構成となっております。</p> <p>啓林館では、巻頭の「わくわく算数学習」において、算数科における学び方について示されております。また、各単元の導入ページで、身の回りの疑問からみんなで考える問題を設定し、問題解決的</p>

	<p>な学習に取り組んでいく構成となっております。</p> <p>日本文教出版では、単元の導入部分において、具体物の操作や身の回りの観察などの算数にかかわる活動を行うことで学習課題を見つけ、問題解決的な学習に取り組む構成となっております。また、「ハロー！算数」で、学習したことを生活の中で生かすことができるように取り扱われております。</p>
富本教育長	<p>それでは、ご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>各社において、創意・工夫されている部分について、教えていただけますか。</p>
石本理事	<p>東京書籍では、単元の導入において、日常の事象や児童の生活体験を基にした題材が扱われております。たとえば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、学校のうさぎ小屋を扱い、「うさぎ小屋の面積」と「うさぎの数」の2つの量が扱われております。</p> <p>大日本図書では、単元の導入場面で、「じっくり深く、学び合おう！」とタグづけされた問題があり、単元の中で、特によく考えて、話し合うべき問題が明示されております。例えば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、遠足でお弁当を食べる場面を扱い、「シートの枚数」と「子どもの人数」の2つの量が扱われております。</p> <p>学校図書では、単元前に「？を発見」が設定されており、日常生活などの身近なことや既習事項から問題が発見できるようマンガ形式の導入を用いております。例えば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、子どもがマットの上に乗っている場面を扱い、「マットの数」と「子どもの人数」の2つの量が扱われております。</p> <p>教育出版では、2年生以上で、単元導入時の「どんな学習がはじまるかな？」で、身の回りの具体物を多く取り入れた問題場面を設定しております。たとえば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、子ども会の旅行での宿泊場面を扱い、「畳の枚数」と「子どもの人数」の2つの量が扱われております。</p> <p>啓林館では、新しい学習のはじめに「単元のとびら」を設定し、日常の事象や既習事項から問題を見出し、問題解決に取り組むように構成されております。例えば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、旅行での宿泊場面を扱い、「畳の枚数」と「子どもの人</p>

	<p>数」の2つの量が扱われております。</p> <p>日本文教出版では、単元の導入において、児童の興味や好奇心に働きかけるような題材が扱われております。例えば、5年「単位量あたりの大きさ」の単元では、公園でシートを広げている場面を扱い、「シートの枚数」と「子どもの人数」の2つの量が取り扱われております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
安明委員	どの教科書においても、児童が興味や好奇心を持って学習に取り組めるような工夫がされているように思いますが、甲乙つけがたい印象を受けました。選定委員会では、どのような意見が出ましたか。
石本理事	学習のめあてがはっきり示されており、思考力や表現力が身につけることができることや、写真などで見やすいつくりになっているもの、また、学習内容の定着が図れるものであることに重点を置き、議論を重ねた結果、東京書籍、大日本図書、日本文教出版を採択の候補として挙げております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
中村教育長職務代理者	学習内容の定着というお話が出ておりましたが、そのためには、家庭学習も重要になるかと思えます。そういった面から、選定委員会では、この3社について、何か意見は出ていますか。
石本理事	家庭学習をする際に、教科書を用いて復習しやすい教科書がどれかという点で、話し合いを進めましたが、日本文教出版の教科書が、問題の解決に至る道筋がていねいに書かれており、自力で学習を進めやすいのではないか、という意見が出ております。
中村教育長職務代理者	たしかに、見比べてみると、日本文教出版が、説明が詳しくなされているように思えます。復習をする際にも、考え方を再確認できそうで、ちょうどいいように思います。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。

井手委員	復習がしやすいというのは、私も大変重要だと思います。学習の定着には、復習が必要です。
富本教育長	日本文教出版を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。算数について、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんか。 (「異議なし。」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。算数につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。 続きまして、理科について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	自然の事物・事象についての理解を図り、見通しを持って科学的な見方や考え方を養うための適切な内容が取り上げられているか、児童が個々に興味・関心をもって意欲的に学習に取り組めるよう工夫されているか、主たる学習内容との適切な関係のもとで、個に応じた指導の充実に向けての配慮がなされているか等を、主な観点としております。
富本教育長	6社の教科書がありますが、信州教育出版につきましては、2市1町に見本本が届いておらず、調査を行うことができませんでしたので、候補から省かせていただいております。残り5社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	各社とも観察や実験等の理科の学びにおいて、問題、予想、計画、観察・実験、結果、考察といった基本的な問題解決の流れを大切に構成となっております。それ以外の主な特徴を申し上げます。東京書籍では、それぞれの単元の初めに、「レッツスタート！」のページがあり、疑問点を探し、話し合うことでその単元の問題をつかみやすく、見通しを持って学習に入っていけるように考えられております。

富本教育長	<p>大日本図書では、問題をつかむ・予想する段階や、実験を行う際の手順と並列する形でヒントとなる写真や図を示すことで、児童が流れや方法を把握しやすく配慮されております。</p> <p>学校図書では、各単元の最初のページで、この單元ではどのような学習をしていくのかを、大きな流れで示しており、児童が見通しを持って学習できるように考えられております。</p> <p>教育出版では、資料のページが用意されていて、画像や映像を用意しにくい内容を図等で示しており、児童が理解を深める手助けとなっております。</p> <p>啓林館では、学習内容の導入の段階で、普段でも行える遊びを紹介し、取り組んでみることで、体験を伴った学習へとつなげられるように構成されております。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問を承ります。</p>
安明委員	<p>理科の学習といえば、実験や観察を中心に進んでいくことと思いますが、特に、実験では、ケガや事故の危険性があると思います。その点に対しての扱いはどのようになっていますか。</p>
石本理事	<p>各社とも理科室の使用法や注意点について、ページを割いて詳しく説明をしていたり、各実験で注意しなければならないことを目立たせるために、マーク等をつけたりすることで、危険が回避できるように配慮されております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
井手委員	<p>5社とも授業を進める時の流れであるとか、実験に対しての注意書きなどの部分では、大きな差はないと感じます。教科書を読んでもありますと、環境問題について取り扱われているなど、日常生活につながる部分がたくさんあるように思いました。理科で学習したことを、子どもたちにも実生活につなげて考えてほしいと思いますが、こういった部分について、選定委員会からは、何か意見は出ていますか。</p>
石本理事	<p>各社、環境問題や日常生活とのつながりについての取り扱いはございますが、大日本図書と教育出版において、取り扱われている箇所</p>

	<p>が特に、多いという意見が出ております。</p> <p>大日本図書では、「りかのたまてばこ」として、学習内容が実生活においてどのように関わっているのか、活用されているのかを紹介することで、児童の科学的知識を実生活に結び付けられるように工夫されております。</p> <p>教育出版では、「科学のまど」のコーナーで、学習した内容を実際の生活の中で利用している例を示すことで、自分の身の回りに学習した知識が応用されていることに、気づくことができるように工夫されております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
中村教育長職務代理者	井手委員からもご意見があったのですが、理科の学習が実生活につながっていくことは、非常に重要だと思いますし、そのあたりの取り扱いの多い、大日本図書や教育出版が、本町の子どもたちにとっては、適しているのではないかと思います。この2社の教科書で、他に特徴的な部分がありますか。
石本理事	<p>ノートの書き方や、実験道具の使用法の説明について、取扱い方にちがいがございます。</p> <p>大日本図書では、ノートの書き方例や実験道具の使い方について、各学年の教科書の後半部にまとめて掲載されておりますが、教育出版では、ノートの書き方例は、教科書の冒頭に掲載されており、実験道具の使い方については、その実験道具を用いる際に、新たに掲載される構成となっております。</p>
中村教育長職務代理者	まとめて確認できるという点では、大日本図書がよいとは思いますが、より学習の流れに即して、一つひとつ確認しながら進めていきやすそうなのは、教育出版ですね。そう考えると、教育出版がよいのではないのでしょうか。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
井手委員	私も中村委員に賛成ですね。他にも、教育出版が、付録というか、資料の部分が充実しているように思います。たとえば、4年生の星

富本教育長	<p>座早見や、6年生の人の体の中の様子も、ほぼ実寸大ということで、イメージがつかみやすくなっているのではないのでしょうか。</p> <p>教育出版を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。理科について、教育出版を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。理科につきましては、教育出版を採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、生活について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについての理解や、生活上必要な習慣や技能について、適切な内容が取り扱われているか、児童の発達段階や特性を考慮した内容になっているか、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>検定を通過しました教科書は、8社ありますが、信州教育出版については、先ほどの理科同様、2市1町に見本本が届いておらず、調査を行うことができませんでしたので、候補から省かせていただいております。残り7社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社とも、自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能については、適切な内容が取り上げられております。では、単元の構成や、幼児期との接続との観点からご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっております。また、幼児期との接続については、「どきどきわくわく1ねんせい」で、児童の活動場面のイラストや写真に、「幼児期につけたい10の力」が記載されております。</p>

	<p>大日本図書では、各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっております。また、幼児期との接続について、「みんな なかよし」で、「仲間づくり」の活動を意識した内容となっております。</p> <p>学校図書では、各単元は、「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」の4つの段階での構成となっております。また、幼児期との接続については、「がっこうだいすき」で、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストで示されております。</p> <p>教育出版では、各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっております。また、幼児期との接続については、「きょうから1ねんせい」で児童の活動場面のイラストや写真に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が記載されております。</p> <p>光村図書では、各単元は、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階での単元構成となっております。また、幼児期との接続については、「あたらしい いちねんせい」で、各教科等を意識した入学当初の活動が、写真やイラストで示されております。</p> <p>啓林館では、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3段階での単元構成となっております。また、幼児期との接続については、「すたあとぶっく『がっこうだいすき あいうえお』」で、各教科等を意識した入学当初の活動が、写真やイラストで示されております。</p> <p>日本文教出版では、各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっております。また、幼児期との接続については、「いちねんせいに なったら」で、各教科等を意識した入学当初の活動が、写真やイラストで示されております。</p>
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
新田委員	<p>どの教科書においても、幼児期との接続という部分が、非常に意識されており、その部分に大きな差はないことがよくわかりました。生活の学習では、体験的な活動が多く、さまざまな道具を使ったり、記録をとったりすることが多く、他の教科との関連についても多くなってくると思います。各教科書の最後の方に、そういった部分がまとまってとられていたように思いますが、いくつかの教科書について、その特徴について教えていただけますか。</p>

石本理事	<p>新田委員がおっしゃる通り、各社、道具の使い方や他教科との関連等をまとめて説明しているページが、最後の部分にございます。3社について、ご説明いたします。</p> <p>大日本図書では、「がくしゅうどうぐばこ」というコーナーを設け、生きもの、植物、料理、国際理解、遊び方など、児童が学習を振り返り、生活上必要な習慣や技能が身につくような資料が紹介されており、他教科との関連が取り扱われております。</p> <p>学校図書では、他教科との関連として、「学び方ずかん」というコーナーを設け、「話す、きく、見る、考える、書く」などの項目に分けて、手紙の書き方やタブレットの使い方など、さまざまな活動が取り扱われております。</p> <p>日本文教出版では、他教科との関連として、「ちえとわざのたからばこ」というコーナーを設け、用具の使い方や観察の仕方、電話のかけ方、手紙の書き方などが取り扱われております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
安明委員	<p>体験の中で、自然とのかかわりという部分についてもたくさん取り扱われているように思うのですが、いくつかの教科書の特徴について教えてください。</p>
石本理事	<p>各社、四季の変化等を意識し、自然とのかかわりについて取り扱っておりますが、3社についてご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、一年間を通して、四季の変化を意識しながら生活や学習ができるよう、時系列に沿って単元が配列・構成されております。</p> <p>光村図書では、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動について、「どうすれば」というコーナーを活用して、児童の見方・考え方を高める工夫をしております。</p> <p>啓林館では、季節にそって単元が構成され、上下巻ともに「きせつだより」など、家庭や地域とのつながりを意識させる内容が取り扱われております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>

新田委員	体験活動によって学習を進めていくという事が、教科書を読んでいくとよくわかりますが、観察をするにしても、校外に出てインタビューをするにしても、安全が一番大事だと思いますが、そのあたりの取り扱いについてはいかがですか。
石本理事	安全について取り上げているページ数に着目しますと、東京書籍が最も多く、次いで、日本文教出版、大日本図書の順で多くなっております。
安明委員	今あげられた3社ですと、子どもも先生も、活動をする際に、安全について意識することができそうだと思います。しかし、その3社で考えた時に、教科書のサイズとしては、大日本図書や日本文教出版の方が扱いやすそうに思います。
富本教育長	大日本図書と日本文教出版の2社に方向性が定まってきたかと思いますが、他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
井手委員	今話題にあがっている安全という観点から見ますと、日本文教出版の方が、ページを開いた際に、右上に「てをあらおう」や「アレルギーに気をつけよう」など、一目で注意すべきことがわかるようになっているように思います。
中村教育長職務代理者	井手委員がおっしゃったように、一目でわかりますよね。また、同じ部分に「何ページもみてね」など、関連があるページが紹介されているのもよいと思います。
富本教育長	日本文教出版を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。生活について、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし。」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。生活につきましては、日本文教出版を採択す

石本理事	<p>ることに決定いたします。 続きまして、音楽について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p> <p>音楽の見方・考え方を働かせるような内容・取扱いになっているか、楽曲について、人権尊重の観点から適切な配慮がなされているか、表現及び鑑賞の活動を通して効果的に学習が進められるよう配慮されているか、音楽活動に対する興味・関心、意欲を高め、思考力、判断力、表現力を育てるための創意工夫がされているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>教育出版では、音楽を形作っている要素を「音楽のもと」として示し、教材や活動に関連するものを教科書上部に記し、児童が意識して学べるような構成となっております。また、伝統芸能や民謡などに関して、実際に歌ったり太鼓のリズムを唱えたりすることにより、演奏や曲の特徴に気づきながら親しむことができるよう配慮されております。</p> <p>教育芸術社では、音楽を形作っている要素を捉えたり、それを生かして表現や鑑賞の活動が進められるように、題材が系統的に構成され、学習のねらいがわかりやすく示されております。また、伝統音楽や民謡などは、実際に音楽の一部を体験する活動など、児童が親しみやすい切り口で学習のポイントを抑えつつ、音楽的側面から取り組みやすいよう工夫がなされております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
安明委員	<p>今うかがった点では、大きなちがいはないようですね。音楽の教科書では、音符などの説明が資料として扱われているかと思いますが、この辺り両社で取扱いに異なるところはありますか。</p>
石本理事	<p>教育出版では、巻末に「音楽のもとまとめ」「音楽を表すいろいろな言葉」「音ぷや休ふ、記号など」があり、随時、関連事項を振り返ることができるよう配慮されております。</p> <p>教育芸術社においても、巻末に「ふりかえりのページ」「いろいろ</p>

	<p>な音符・休符・記号」を掲載し、随時、関連事項を振り返ったりできるように配慮されております。さらに、巻頭には、「学びの地図」が掲載されており、1年間の学習に見通しを持てるように工夫されております。</p>
安明委員	<p>今のご説明をお聞きしますと、両社ともふりかえりという部分では変わりはないようですが、教育芸術社では、1年のスタートに、子どもたちの意欲を強くするような工夫がされているんですね。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
新田委員	<p>取り扱っている歌を大きく分けると、日本の歌も外国の歌もあるかと思いますが、これらのバランスはどうでしょうか。また、採用している歌について、選定委員会においては、何か意見等は出ておりますか。</p>
石本理事	<p>鑑賞の領域に絞って申しますと、日本の歌を取り扱っている数については、教育芸術社の方が多く、外国の歌の取り扱いについては、教育出版が多くなっております。</p> <p>また、採用している歌についてですが、選定委員会では、教育芸術社の方が、児童が親しみをもって取り組めるものが多いのではないかと、という意見が出ております。</p>
新田委員	<p>今のお話をうかがっていると、教育芸術社の方が、本町の子どもたちにあっているように思います。日本の伝統的な歌については、子どもの時にたくさん触れてほしい、そういう気がします。</p>
富本教育長	<p>教育芸術社を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。音楽について、教育芸術社を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。音楽につきましては、教育芸術社を採択する</p>

	<p>ことに決定いたします。</p> <p>続きまして、図画工作について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力が育成できるように配慮されているか、安全に配慮されているか、児童の発達段階を考慮しながら、主体的・対話的で深い学びが実現するような内容になっているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>検定通過の図画工作の教科書は2社でございます。それぞれ説明を求めます。</p>
石本理事	<p>開隆堂では、題材の末尾に、重点的に育てたい力に対応した「ふりかえり」がわかりやすい文章で書かれております。また、「オリンピック・パラリンピックに思いをこめて」という題材を設定し、造形活動を通してスポーツに親しみがもてるよう工夫がされております。</p> <p>日本文教出版では、題材の末尾に、学習のめあてに照らして、児童自身が学んだことや身についた力を振り返るコーナーが設けられております。また、身近な話題と結びついていることが意識できるよう、オリンピック・パラリンピックのエンブレムが取り上げられております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>図画工作の学習では、ハサミやかなづちなど、たくさんの道具を使うこととなりますが、道具を使う時の安全上の配慮については、いかがでしょうか。</p>
石本理事	<p>両社とも、道具の扱いに多少の差はあるものの、巻末のページで新しく使用する道具の使い方についての説明が詳しく書かれており、安全上の配慮についてもきちんとなされております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>

中村教育長職務代理者	先ほど観点の部分でもご説明のありました、主体的・対話的で深い学びという部分を実現させるための工夫としては、何かございますか。
石本理事	図画工作の授業ですと、ほとんどの子どもも楽しく、主体的に取り組む姿が見受けられるのですが、対話的で深い学びをするためには、作品を相互に鑑賞することで、良いところや工夫を交流し、自分の作品をよりよく仕上げていくことが大切だと考えております。両社とも、子どもたちが相互鑑賞し、コミュニケーションを取りながら、作品を深めていくページは設けられておりますが、日本文教出版の方が、より数多く取り扱っております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
安明委員	学習を深めていくという視点では、他の教科との関連も重要かと思うのですが、そのあたりはいかがでしょう。
石本理事	開隆堂では、「あわせて学ぼう」というコーナーを設け、他教科との関連が示され、教科横断的な学習の手立てとなるように工夫されております。 日本文教出版では、道徳に深く関連するページに道徳マークが示され、道徳との関連について重視した扱いになっております。
井手委員	道徳との関連に重点が置かれているというのは、本町の子どもたちにとって、とてもよいのではないのでしょうか。
中村教育長職務代理者	道徳と関連付けているところもですし、相互鑑賞を多く取り扱っている点でも、私は、日本文教出版がよいのではないかと思います。
富本教育長	日本文教出版を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。図画工作について、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんか。

	(「異議なし。」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。図画工作につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。 続きまして、家庭について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な知識・技能を身につけるようにしたものであるか、実習における技能を身につけるために取り上げられている内容が児童の発達段階に対応しているか、児童の発達段階を考慮し、学習内容をいっそう深め、広げるものになっているか等を、主な観点としております。
富本教育長	各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	両社とも日常生活に必要な知識・技能を身につけることができる内容となっております。また、巻末の道具の使い方の説明については、両社とも右利き、左利きの両方に対応した構成となっております。
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
井手委員	家庭の学習というのは、学んだことを日常生活につなげていくことが非常に重要だと思いますが、そのあたり、取り扱いに差はありますか。
石本理事	両社とも学んだことを生活の中で生かすことができるように、各題材の最後で、生活に生かすためのコーナーが設定されております。取り扱いの量としては、開隆堂の方が少しではありますが、多くなっております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
新田委員	中身、内容については、甲乙つけがたいように思いますが、教科書を開いた時の見やすさについては、開隆堂の方がすっきりしている

	<p>ように思います。</p>
安明委員	<p>新田委員のおっしゃる通りだと思います。東京書籍は、サイズも大きく、写真や図も大きく示されていますが、情報量が多い感じがします。見やすさという面では、開隆堂がよいのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>ただ今、開隆堂を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。家庭について、開隆堂を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。家庭につきましては、開隆堂を採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、保健について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>健康や安全な生活について理解し、課題解決に向けて思考し、判断する力を養う内容が適切に取り扱われているか、各学年の目標や内容を踏まえて、他教科との関連を考慮し、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか、児童の発達段階を考慮し、学習した内容を確実に習得できるよう、学習したことを振り返ったり、自身の生活に生かしたりすることができるように配慮がなされているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>保健につきましては、検定を通過したものが5社でございます。各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>東京書籍では、章のはじめに、「目標」と単元との関連がわかりやすく表記されており、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されております。</p> <p>大日本図書では、健康、安全について実践的に理解するため、単元</p>

富本教育長	<p>の初めに「やってみよう」「話し合ってみよう」で、学習のポイントをわかりやすく示し、興味をもって学習に取り組めるよう工夫されております。</p> <p>文教社では、健康や安全な生活について理解し、実践するため「考えよう」「話し合おう」「調べよう」など、生活を振り返ったり、考えを深めたり、表現する活動が取り扱われております。</p> <p>光文書院では、小单元ごとに「学習課題」がわかりやすく表記されており、単元の学習の最初に、現在の自分の生活や知識を振り返る活動が取り扱われております。</p> <p>学研みらいでは、各单元のはじめに、「ここで学ぶこと」が記されており、身近な生活における自己の課題を考え、課題解決に向けたさまざまな活動につながるよう工夫されております。</p>
井手委員	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
石本理事	<p>各社の人権についての取り扱いは、いかがでしょうか。</p>
富本教育長	<p>各社とも、挿絵や写真について、障がいのある方や外国の方についても掲載するなど、配慮した取り扱いがなされております。3社について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、障がい者アスリートの読み物資料が掲載されており、児童が不安や悩みへの対処法を考えるヒントとなるような取扱いがされております。</p> <p>光文書院では、ページ見開きで、障がい者アスリートのメッセージが掲載されており、文章や写真、資料等の扱いが適切になされております。</p> <p>学研みらいでは、健常者と障がい者が一緒にスポーツをする写真を掲載するなど、文章や写真、資料などが適切に扱われております。</p>
中村教育長職務代理者	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>5・6年生の教科書では、心の健康について扱っている単元がありましたけれども、呼吸法など、実際に不安やなやみ、緊張にどのように対処していくか、ということがどの教科書にも書かれており、子どもたちにとっても参考になるというふうに感じました。この単元で、他に特徴的な部分はありませんか。</p>

石本理事	<p>大日本図書では、子どもが持ちやすい悩みへの対処法について、4つの具体例が示されており、実際に悩みを持っている子どもへのヒントになるように工夫されております。また、相談窓口についても紹介されております。</p> <p>文教社では、「新しい自分にレベルアップ」のコーナーで、相談のしかた、受け方について考える構成となっており、受け手にとって大切な相手に寄り添うという視点が示されております。</p> <p>学研みらいでは、不安やなやみへの対処法が具体的に示されているほか、いじめについて考える内容が取り扱われており、不安や悩みと関連させながら、子どもたち自身が、いじめについて深く考えるきっかけとなるよう工夫されております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
新田委員	<p>全国的に、いじめに関する大きなニュースとかが多いので、子どもたちがいじめについて考えるきっかけになる部分が学研みらいにあるので、よさそうですね。</p>
安明委員	<p>いじめについては、真剣に向き合ってほしいと思います。また、他の教科書と比べると、学研みらいの教科書は、見開きで学習が完結しているものが多く、子どもたちにとって学びやすいように思います。</p>
富本教育長	<p>学研みらいを推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。保健について、学研みらいを採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。保健につきましては、学研みらいを採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、英語について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>

石本理事	<p>外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の4技能5領域の言語活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養うバランスのとれた内容となっているか、日本および世界の人々の生活、地理、歴史、伝統文化等多様性のある内容になっているか、日本語とのちがいに留意しながら、音声と文字とを関連づけて指導できるよう配慮されているか、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする活動など、学んだことを活用するための工夫がなされているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>英語科につきましては、7社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>外国語ということで、国際理解の観点かどの教科書でも取り扱われております。その部分について、各社の特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、世界の授業や、多言語で表示した標識など、言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p> <p>開隆堂では、「ツアープランナーになろう」や「世界の衣食住を知ろう」など、言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p> <p>学校図書では、単元の終わりのColumn（コラム）において、世界各国の風習などについての話題が提示されるなど、言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p> <p>三省堂では、「世界のあいさつ」「世界のまちかど」「世界の小学校」など、言語や文化に関する資料が取り扱われております。</p> <p>教育出版では、Let's Look at the Worldにおいて、海外の学校、アメリカの手話、外来語など、言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p> <p>光村図書では、「世界の友だち」において、世界各国で実際に生活する小学生の考えや暮らしを紹介するなど、言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p> <p>啓林館では、各単元にあるDid you Know?において、世界各国の風習などの言語や文化に関する題材や資料が取り扱われております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>

中村教育長職務代理者	教科書を見ておりましたら、CAN-DOリストというものが目についたのですが、一体どのようなものなのでしょうか。
石本理事	CAN-DOリストですが、学習の到達目標を「～することができる」という形で指標化し、英語を使って、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の4技能5領域において、「具体的に何ができるようになったのか」を明確にするために用いられるものです。文部科学省が手引きを作成しており、中学校や高校においても、このリストが重要視されております。
井手委員	リストのことはわかりましたが、今回、教科書では使われていないものもあったように思います。各社の扱いの有る無しについて、確認させていただけますか。
石本理事	東京書籍、開隆堂、三省堂、光村図書、啓林館については、CAN-DOリストの取り扱いがあり、学校図書、教育出版については、取り扱いはございません。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
新田委員	中学校、高校との接続という意味で考えましたら、CAN-DOリストについては、教科書に明示されていた方が、わかりやすくよいように思います。来年度から初めて、これらの教科書のうち、どれかを使って英語の授業をすることになるのですが、中学校に入る前に、英語が嫌いにならないように、何か工夫がされているんですかね。このあたり、選定委員会では、何か意見は出ていますか。
石本理事	選定委員会の方でも、そうした部分について意見交換を行っております。そもそも、今回の英語の教科化については、中学校に入った際に、英語に対しての興味や関心がより高まった状態で、段差を少なく接続することが重要だと考えております。その意味では、楽しく繰り返し活動できるような内容であることが望ましく、また、学級担任での実施ということも考えた際に、開隆堂、教育出版、光村図書、啓林館がよいのではないか、という意見が出ております。

井手委員	これまでの話を総合しますと、CAN-DOリストがあり、段差が少なくなるという両方の条件を満たしているのは、開隆堂、光村図書、啓林館の3社です。この3社では、何か大きな違いはありますか。
石本理事	3社とも巻末に絵カードがついている点では同じなのですが、光村図書では、絵辞典、啓林館では、Word List という形で、授業の中で扱う単語が種類ごとに示されており、調べやすくなっております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
安明委員	これまでのご説明をうかがっていますと、光村図書か啓林館が、本町の子どもたちにはあっているように思うのですけれども、この2社での違いはございますか。
石本理事	授業で取り扱っている文法事項については、もちろん同じものとなっておりますが、題名のつけ方に両社の特徴が出ているように思います。たとえば、5年生で、学校生活や教科、時間割について学習する単元がありますが、光村図書では、What do you have on Monday? と、疑問文を用いているのに対して、啓林館では、I study math on Monday. と、肯定文を用いております。他にも、誕生日についての単元や料理の注文などをする単元において、光村図書は疑問文、啓林館は肯定文を用いて、題名を表しております。
安明委員	今のご説明ですと、光村図書の方が、題名の段階で、やり取りにつながっていくことを意識しているように感じますね。
新田委員	英語というのが、コミュニケーションが重要な教科だと考えると、光村図書の方がより適しているのではないのでしょうか。
富本教育長	ただ今、光村図書を推す声が出ておりますが、他にご意見はございませんか。
富本教育長	ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたしま

	<p>す。英語について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。英語につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。続きまして、道徳について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われているか、人権尊重の精神に基づき、人間としての在り方や生きることの素晴らしさや生命の尊さについて考えを深められるよう取り扱われているか、道徳性を養うことの意義について、児童自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されているか、学んだことをさらに深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>道徳については、8社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>東京書籍では、教材の冒頭に主題となるテーマが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられるよう構成されております。また、教材末尾にある設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>学校図書では、教材の冒頭に内容項目、主題、発問を記載しないことで、児童自ら問題に気づくことができるよう構成されております。また、分冊『まなび』にある「かんがえよう」「みつめよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>教育出版では、教材の冒頭に内容項目のキーワードと導入の問いかけが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられるよう構成されております。また、教材の末尾にある発問例「考えよう」「深めよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>光村図書では、教材の冒頭にテーマと学習内容に関わる自己の考え</p>

	<p>や経験等の問いかけが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられるように構成されております。また、教材末尾にある「考えよう・話し合おう」での心情を問う問いや役割演技を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>日本文教出版では、教材の冒頭に内容項目と主題が示されており、児童が見通しを持ちながら考えられるよう構成されております。また、教材末尾にある「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>光文書院では、教材の冒頭に主題や発問が示されており、児童が見通しを持ちながら考えられるよう構成されております。また、末尾の「まとめる」「広げる」の設問例を通して、児童の考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>学研みらいでは、教材の冒頭に主題を記載しないことで、児童が主体的に問題意識を持つことができるよう取り扱われております。また、教材末尾にある「考えよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p> <p>廣済堂あかつきでは、教材の冒頭に主題を想起させるキーワードを、教材末尾の「学習の道すじ」では、めあてを示し、児童が見通しをもちながら考えられるよう構成されております。また、分冊『道徳ノート』を通して、考えを深められるよう取り扱われております。</p>
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
中村教育長職務代理者	先ほどの説明によりましたら、冒頭に主題等が書かれているものと、書かれていないものに分かれているようですが、子どもにとっては、冒頭に記載がある方が考えやすいように思うのですが、いかがでしょうか。
井手委員	私も中村委員がおっしゃるように、冒頭に示されている方がよいと思います。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
新田委員	今現在、光村図書を使用されていますよね。こちらには、分冊はなかったと思います。今回も、分冊のあるものと、ないものがあります。

	<p>ますが、学校の授業では、分冊のない光村図書を使用した授業をどのように展開されているのでしょうか。</p>
石本理事	<p>教科書の形になる前と同じように、児童の実態に応じて作成したプリントを主に使い、ノートやファイルに綴じることで、記録として残していくことを中心にして進めております。</p>
安明委員	<p>今回も分冊が示されているわけですが、この点について、選定委員会では、どのような意見が出ていますか。</p>
石本理事	<p>分冊については、学校図書、日本文教出版、廣済堂あかつきで用いられておりますが、こちらを用いて授業をすると、学年の子どもの実態に即した授業を行うことが難しい点や、また、補充的な発問をしたい時に、記録のスペースがなく、追加でワークシートを用意する必要が出て来る点が指摘されております。これまでの積み重ねの部分も考えると、分冊のない他の5社の方が、より子ども達の実態に合わせた授業を工夫していくことが可能ではないかという意見が出ております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
中村教育長職務代理者	<p>今の説明を整理してみますと、東京書籍、教育出版、光村図書、光文書院、学研みらいの5社が、候補としてあがってくると思いますが、この5社のいじめについての扱いについては、大きなちがいはあるのでしょうか。</p>
石本理事	<p>各社とも、いじめについては、満遍なく取り扱っており、いじめを許さない態度を育むよう配慮されております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
安明委員	<p>教科書を読んでいますと、振り返りを直接書き込む欄があったかと思いますが、今挙がっている5社のふりかえりについての取り扱いについて、教えていただけませんか。</p>
石本理事	<p>ふり返しについては、東京書籍は、毎時間色を塗る形でできるよう</p>

	<p>になっており、学期ごとに、文章記述をする欄が設けられております。教育出版では、学期ごとに、文章記述をする欄が設けられております。光村図書と光文書院では、毎時間のふり返りを文章記述する欄が設けられております。学研みらいについては、一年間のふり返りを書く欄が設けられております。</p>
新田委員	<p>ふり返りについて、毎時間行うことで、1つ1つの題材について、深く考えてほしいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
井手委員	<p>私もそのように思います。毎時間、自分自身を深く見つめてほしいですね。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
中村教育長職務代理者	<p>ここまでで、光村図書と光文書院に絞られてきたように思いますが、光村図書には、これまで先生方が2年間使ってきた実績もありますし、教材についてもいろいろと研究がなされているように思います。振り返りの在り方や、冒頭に主題が書かれており、子どもたちが考えるきっかけになるような点を併せて、光村図書がよいのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>ただ今、光村図書を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p>
富本教育長	<p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りします。道徳について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。道徳につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。</p> <p>以上で、令和2年度小学校使用教科用図書について、全種目採択が終わりましたので、採択結果について、確認いたします。</p> <p>国語 光村図書、書写 学校図書、社会 日本文教出版、地図 帝国書院、算数 日本文教出版、理科 教育出版、生活 日本文教出版、音楽 教育芸術社、図画工作 日本文教出版、家庭 開隆堂、</p>

	<p>保健 学研みらい、英語 光村図書、道徳 光村図書、以上です。お諮りします。令和2年度使用小学校教科用図書について、以上の教科書を採択することに、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p>
富本教育長	異議なしと認めます。
富本教育長	次に、日程第2・議案第28号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題と致します。事務局より議案の朗読を願います。
二重課長	（ 議案朗読 ）
富本教育長	会議規則第9条の規定により趣旨説明を求めます。
石本理事	<p>令和2年度使用中学校教科用図書の採択に関して、でございますが、本年は採択替えの年となっております。しかし、新たに文部科学省の検定に合格した図書がありませんでした。資料をご覧ください。大阪府教育庁より出されております「平成32年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項」の1（2）において、次のように書かれております。「②採択にあたっては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査研究の内容等を活用することができること。」このように書かれております。前回の採択替えからの4年間、忠岡中学校では、現行の教科書を使用して、充実した教育活動が行われております。したがって、本町の子ども達及び授業を行う先生方にとっては、現行の教科書を次年度も採択することがよいと考えます。また、昨年度新たに採択しました道徳につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」と、これを受けての「同施行令」にもとづき、令和2年度も、今年度と、同一の教科用図書を採択いただくものとなっております。</p>
富本教育長	説明は以上のお通りです。説明に基づきまして、令和2年度使用中学校教科用図書採択については、現在使用している教科書と同一のものを採択するというご異議ございませんか。

<p>富本教育長</p>	<p style="text-align: center;">（ 「異議なし。」 の声 ）</p> <p>ご異議がございませんので、令和2年度使用中学校教科用図書につきましては、今年度と、同一の教科用図書を引き続き採択することに決定いたします。</p>
<p>富本教育長</p>	<p>以上で、すべての議事が終了いたしました。これにより、令和元年第1回忠岡町教育委員会臨時会を終了いたします。長時間にわたる、慎重なご審議、どうもありがとうございました。</p>